

学科・類：

学籍番号：

名前：

授業中に配布した用紙でない場合は、「コピー」と右上に大きく書くこと。
用紙が足りないときは、裏面を使ってよい。

問 1. 右図のように、電圧源、コイル L と抵抗 R_2 が並列に接続されたもの、コンデンサ C 、抵抗 R_1 が直列接続されている。時刻 t において、コイル以下それぞれの電流を $i_L(t)$, $i_{R_2}(t)$, $i_C(t)$, $i_{R_1}(t)$, かかる電圧を $v_L(t) = v_{R_2}(t)$, $v_C(t)$, $v_{R_1}(t)$ とすると次の関係が成立する。

$$\begin{aligned} i_C(t) &= C \frac{dv_C(t)}{dt} \\ v_L(t) &= L \frac{di_L(t)}{dt} \\ v_{R_1}(t) &= R_1 i_{R_1}(t) \\ v_{R_2}(t) &= R_2 i_{R_2}(t) \end{aligned}$$

電圧源の電圧を $u(t)$ とすれば,

$$i_C(t) + i_{R_2}(t) = i_L(t) = i_{R_1}(t)$$

$$v_L(t) + v_C(t) + v_{R_1}(t) = u(t)$$

が成立する。いま、出力 $y_1(t)$, $y_2(t)$ を $v_C(t)$, $i_C(t)$ とするとき, $x_1(t) = i_L(t)$, $x_2(t) = v_C(t)$ として, 1 入力 2 出力 2 次のシステムの状態微分方程式と出力方程式を示しなさい (一般に LCR 回路を解析するときには, コイルの電流, コンデンサの電圧を状態変数にとる)。また, $L = \frac{1}{2}$, $C = \frac{1}{2}$, $R_1 = 1$, $R_2 = 1$, とし, $i_L(0) = 0$, $v_C(0) = 2$, 入力 $u(t)$ をユニットステップ関数 ($u(t) = 0$ ($t < 0$), $u(t) = 1$ ($t \geq 0$)) としたときの, $t \geq 0$ における出力 $y_1(t)$, $y_2(t)$ を求めなさい (ラプラス変換を使って計算する)。

回路方程式より,

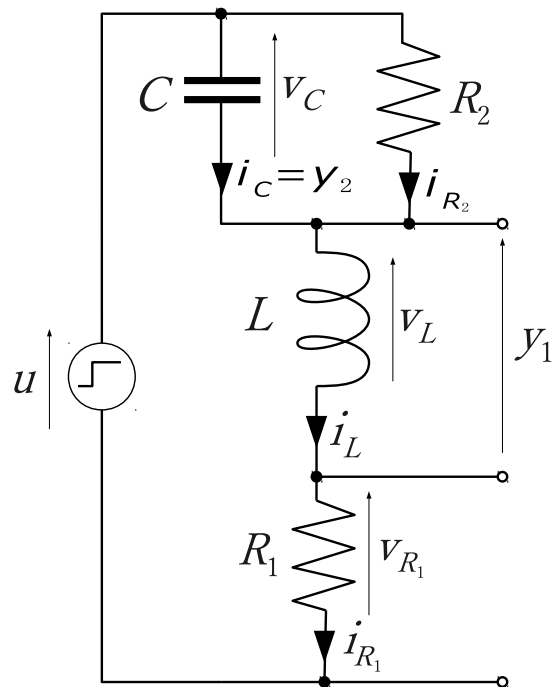
$$\begin{aligned} L \dot{i}_L(t) &= -R_1 i_L(t) - v_C(t) + u(t) \\ C \dot{v}_C(t) &= i_L(t) - \frac{1}{R_2} v_C(t) \end{aligned}$$

が成立するので, 次のような状態微分方程式, 出力方程式が成立する。

$$\begin{aligned} \begin{pmatrix} \dot{x}_1(t) \\ \dot{x}_2(t) \end{pmatrix} &= \begin{pmatrix} -\frac{R_1}{L} & -\frac{1}{L} \\ \frac{1}{C} & -\frac{1}{CR_2} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1(t) \\ x_2(t) \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} \frac{1}{L} \\ 0 \end{pmatrix} u(t) \\ \begin{pmatrix} y_1(t) \\ y_2(t) \end{pmatrix} &= \begin{pmatrix} 0 & 1 \\ 1 & -\frac{1}{R_2} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1(t) \\ x_2(t) \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \end{pmatrix} u(t) \end{aligned}$$

与えられた値を代入して状態微分方程式をラプラス変換すると,

$$\begin{pmatrix} sX_1(s) \\ sX_2(s) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 2 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} -2 & -2 \\ 2 & -2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} X_1(s) \\ X_2(s) \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} 2 \\ 0 \end{pmatrix} \frac{1}{s}$$



となる。従って、

$$\begin{aligned}\begin{pmatrix} X_1(s) \\ X_2(s) \end{pmatrix} &= \begin{pmatrix} s+2 & 2 \\ -2 & s+2 \end{pmatrix}^{-1} \begin{pmatrix} \frac{2}{s} \\ 2 \end{pmatrix} \\ &= \frac{1}{(s+2)(s+2)+4} \begin{pmatrix} s+2 & -2 \\ 2 & s+2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \frac{2}{s} \\ 2 \end{pmatrix} \\ &= \frac{1}{s\{(s+2)^2+4\}} \begin{pmatrix} 2(s+2)-4s \\ 4+2s(s+2) \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} \frac{-2s+4}{s\{(s+2)^2+4\}} \\ \frac{2s^2+4s+2}{s\{(s+2)^2+4\}} \end{pmatrix}\end{aligned}$$

となるので、出力のラプラス変換は、

$$\begin{aligned}\begin{pmatrix} Y_1(s) \\ Y_2(s) \end{pmatrix} &= \begin{pmatrix} 0 & 1 \\ 1 & -1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \frac{-2s+4}{s\{(s+2)^2+4\}} \\ \frac{2s^2+4s+2}{s\{(s+2)^2+4\}} \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \end{pmatrix} \frac{1}{s} \\ &= \begin{pmatrix} \frac{2s^2+4s+4}{s\{(s+2)^2+4\}} \\ \frac{-2s-6}{(s+2)^2+4} \end{pmatrix}\end{aligned}$$

となる。次に、出力を時間関数に直す。 $Y_1(s)$ を部分分数展開する。

$$\frac{2s^2+4s+2}{s\{(s+2)^2+2\}} = \frac{A(s+2)+B}{(s+2)^2+2} + \frac{C}{s} = \frac{(A+C)s^2+(2A+B+4C)s+8C}{s\{(s+2)^2+1\}}$$

より、 $A = \frac{3}{2}$, $B = -1$, $C = \frac{1}{2}$ となる。従って、

$$Y_1(s) = \frac{11}{2s} + \frac{3}{2} \frac{s+2}{(s+2)^2+4} - \frac{1}{2} \frac{2}{(s+2)^2+4}$$

となり、

$$y_1(t) = \frac{1}{2} + \frac{3}{2} e^{-2t} \cos 2t - \frac{1}{2} e^{-2t} \sin 2t$$

となる。 $Y_2(s)$ を

$$Y_2(s) = -2 \frac{s+2}{(s+2)^2+4} - \frac{2}{(s+2)^2+4}$$

と変形すれば、

$$y_2(t) = -2e^{-2t} \cos 2t - e^{-2t} \sin 2t$$

となる。